

令和2年度 建築科 「課題研究」 最終発表 概略版

1班 (営繕班)

1 テーマ

学校または地域の人たちが利用するものの修繕・製作を行う。

2 研究目的

実習で学んだ知識や経験を生かし、学校内の不具合な箇所を自分たちで見つけ、解決する。また、校内だけでなく地域の方々の依頼を受け、地域貢献にも取り組む。

3 本年度の実績

- (1) 建築科卒業生の集合写真を収めるための額縁を製作・設置した。
- (2) 建築科実習室の椅子の座面が取れかかっているものを修繕した。
- (3) 卒業生が製作・設置した藤棚下のテーブルベンチが朽ちかかっていたので、2班に分かれて計画・見積り・詳細設計・製作を行なった。
- (4) 入学式・卒業式の会場設営で必要なロープを巻く器具を製作した。

4 今後の課題

不具合な箇所を解決するためのより良い方法を研究すると共に、施工精度の向上を目指す。



2班 (靴入れ班)

1 テーマ

広島市立幼稚園に寄贈するための靴入れを設計・製作する。

2 研究目的

靴入れやおもちゃ・楽器製作を通して、木材加工・工作機械の操作方法・安全に対する意識を身につける。

3 本年度の実績

- (1) 園児用木製椅子の製作(6月～9月)
靴入れ製作の練習を兼ねて取り組んだ。完成した作品は、靴入れと合わせて広島市立矢野幼稚園に寄贈した。
- (2) 靴入れの製作・寄贈(9月～1月)
 - ①7月6日(月)、矢野幼稚園の園長先生はじめ先生方から要望を聞き取った。
 - ②検討の結果、3グループに分かれ、1グループで1つの靴入れを製作した(規格は統一、背面色で識別)。
 - ③2月8日(月)、矢野幼稚園に園児用木製椅子とともに寄贈した。

(3) オープンスクールの中中学生体験実習 「ストラップの製作」

(4) 学校訪問者へのプレゼント製作 「ストラップ」、「クリスマスツリー」

4 今後の課題

コロナ禍で作業期間が短かったにもかかわらず、計画的・効率的に作業を行った結果、納期を守ることができた。また、研究目的も十分に達成することができた。
来年度はさらなる取組の質の向上を目指す。



3班 (情報班)

1 テーマ

老人福祉施設へのレクリエーション用具の提案：プロダクトデザイン

2 研究目的

各種情報機器を使用、既習の知識を横断的に活用し、実際のプロダクトとしてお年寄りのレクリエーション用具をデザインする。用具は実際に使用していただくことで問題点を発見・解決し、工学的な探求心と分析力を養う。

3 本年度の実績

福祉施設を見学し、お年寄りの方々のレクリエーションを楽しんだ。様々な疾患と障害を抱えた方々の不便を発見し、デザイン力で解決策を模索した。発見した問題点から解決策を抽出してスケッチにおこし、CGで仮想立体にして3Dプリンタで印刷した。用具を実際に使用していただき、多くの笑顔を拝見することができた。

4 今後の課題

片麻痺、リウマチ、パーキンソン病の方々へのフィットは難しく、健常者に偏ったデザインとなってしまった。これからは、医学的な疾患の特性も学びつつ、デザインの質を高めていきたい。

